



おぶせ

OBUSE TOWN
PUBLIC RELATIONS
MAGAZINE

Monthly
January
No.1049

1
2021



Cover

どんど焼き (皇大神社・松村育成会)

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さんにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も町政にご助力を賜りますとともに、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

昨年は、令和元年東日本台風（台風19号）災害の傷も癒えぬままに、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年となりました。当町でも、感染拡大の影響は住民生活や町の産業、医療福祉など広範囲に及んでいます。

各自自治会でのお祭りや会合は中止や規模の縮小を余儀なくされ、町民運動会は一昨年に続き2年連続で中止となるなど、本来は人と人とが交流し、信頼関係を構築する場として機能してきた各種行事の多くが実施できない状況となりました。

9月から10月にかけての秋の観光シーズン本番には、例年に近い形で多くのお客様をお迎えすることができましたが、11月中旬以降には再び全国的な感染拡大が起これ、今後の情勢も不透明な状況にあります。製造業や建設業などの

業種でも、企業の業績悪化や消費の落ち込み、部品供給の停滞などにより、さまざまな影響を受けていると聞いております。

このような厳しい状況の中ではありますが、町のなかを眺めると、さまざまなところで未来への明るい兆しが見えつつあることを感じています。

一昨年の台風により大きな被害を受けた農業については、千曲川堤外地における農地復旧事業をはじめ、昨年中にほとんどの災害復旧事業を完了し、復興に向けた農家の皆さんの尽力により、収穫の秋には大変な豊作を迎えることができました。

町の歳入増に欠かせない「ふるさと納税」についても、好調な農業生産と全国で小布施を応援いただいている方とのつながりの強さを反映するように、昨年同時期比以上のご寄付をいただいています。ふるさと納税の多くはEC（電子商取引）サイトなどのオンラインサービスを通じた寄付となっており、ICT（情報通信技術）の有効活用が、町に大きな可能性を開いてくれることを感じて

いるところです。

防災面では、台風災害の経験を教訓に、水害ハザードマップの更新に加え、防災訓練のあり方や水害時の避難所の指定を見直すとともに、住民おひとりおひとりが災害時の避難方法をあらかじめ検討し作成する「わが家の避難計画」の普及啓発活動に力を入れてまいりました。コロナ禍にあっても、真に災害に強いまちづくりに向けた新しい取り組みをスタートすることができたのは、大きな収穫だったと考えています。

防災対策の推進に加え、昨年8月には、災害発生の根本原因の一つといわれる地球温暖化対策の一歩として、長野県の自治体としては3番目となる「世界首長誓約」への署名を行いました。低炭素社会の実現や廃棄物の削減・再利用の促進などに向けて、専門家と連携しながら各種調査に取り組んでいます。今年度から計画期間がスタートした第六次総合計画を踏まえながら、災害に強く、環境にやさしい環境防災先進都市を目指し、今年はより具体的な検討に取り組んでまいる所存です。

新型コロナウイルス対策の一環として、総額2億1千500万円規模で販売したプレミアム商品券や、コロナ禍で新たにテイクアウトやデリバリーを始めた飲食店等を応援する補助事業の実施を通じ

て、町民の皆さんや事業者の皆さんからは「町内にある飲食店の魅力を再発見する機会になった」「これまでとは違う客層の方々に来ていただけるようになった」「新しい販売方法の可能性を実感することができた」など、数多くのうれしいお声を頂戴しております。他市町村からのお客様を大切にお迎えすることに加えて、地域に住まうおひとりおひとりが、地域の事業者への応援の意思をもって消費行動を行う「地域内経済循環」の高まりが、今後の地域経済の活性化の大きな力になることを実感しています。

これらの未来に向けた良い兆しを適切に捉えながら、新たな取り組みをつないでいくことが、アフターコロナの小布施のまちづくりの礎になると確信しているところです。

さて、私事ではございますが、本年1月21日をもって小布施町長を退任いたします。町民の皆様におかれましては、4期16年の長きにわたり、多大なるご支援をいただきましたことを心より御礼申し上げます。新町長のもとではじまる新たな小布施のまちづくりにご期待とご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

コロナを乗り越え、新しい時代へ

小布施町長 市村良三



ウィンタースクールがオンラインで 開催されました



開閉会式には市村町長、中島教育長、関町議会議長が出席。
(写真は開会式)

同時開催していた「HLAB 徳島」の高校生と交流。距離を越えての交流はオンラインならではの。



閉会式では高校生たちのサプライズ企画で、大学生たちに感謝のメッセージが贈られました。

実行委員長 およべ 及部愛実さん(東京大学3年)

新型コロナウイルスの影響で夏の開催を延期し、冬の開催に向けて準備を進めてきました。感染拡大が収まらず、オンラインでの開催を決めたのが11月でした。町の人のお宅へのホームステイなど、小布施ならではの町民の皆さんと関わる企画がない中で、どのように小布施町と関わりを持つことができるのかを考えました。小布施町は寛容で、一緒に何かをやってくれる町。これからも町の人たちと一緒に小布施の魅力を作っていきたいと思っています。

参加高校生から ～4日間の旅を終えて～

伊藤みのりさん(松の実・須坂高校1年)

自分の好きなこと、やりたいことを見つけないと思い参加しました。参加するまではわくわくしていたけど、始めてみると「みんなレベルが高い」と気後れしてしまいました。でも「自分の価値観を認めれば大丈夫」と受け入れてくれたのがうれしかったです。何かを始める時、「何のために？」と考えてしまっていたけど「わくわくするから、やりたいから」でも良いんだと思えました。自分の考えが変わる瞬間がいくつもありました。

毎年夏に開催しているHLAB。今年度は新型コロナウイルスの影響で夏の開催を見合わせ、従来とは形を変え12月26日～29日に開催されました。

テーマは「Love your journey」。町内からは2人の高校生がオンラインで世界とつながる旅に出ました。

運営委員

中村陽奈子さん
(青山学院大学2年
・小布施町清水出身)

実際に集まることはできなくても小布施を知ってもらい、小布施のことを主体的に考え、関わってもらいたいと思いプログラムを考えました。高校生たちとのコミュニケーションにおいてもリアルな場所を共有できない分、できるだけ自分の意見を自ら発信してもらえる仕組みを考えました。高校生たちが徐々に自分の話をしてくれるようになり、何でも話せる安心感を一緒に作ることができました。オンラインでもひとりひとりとしっかり向き合うことができました。私自身も高校生たちに気づかされる場面もあり、一緒に成長できたと思います。



海外大学生 ジャスティン リーシェ Justin Lixie さん
(アメリカ・オーバリン大学)

小布施町はホームステイを受け入れてくれ、人にやさしいことを知っています。小布施でみんなに会いたかったのですが、オンラインで会うことができて良かったです。自宅からのオンラインだとプログラムによって参加しないこともできるので心配な面がありました。でも高校生たちは全てのプログラムに参加してくれました。みんなと仲良くなれてよかったし、みんなの成長にびっくりしました。

笹澤夏希さん(林・市立長野高校3年)

コミュニケーションのあり方を学び、自分の意見を主張しつつ相手も尊重できるバランスのとれた人間になりたいと思い参加しました。一昨年の夏に参加し、今回で2回目なので「成長しなきゃ」というプレッシャーがありました。でも、みんな温かく迎えてくれてプレッシャーなんて感じなくてよかったと思いました。いろいろなことにチャレンジできた4日間でした。大学生になったら運営委員としてHLABに関わっていきたいです。



今井克海さん(中央)

高校で研修を受けた縁で、機械メーカーに就職し、今は資格取得を頑張っています。コロナが収束したら金沢に行って高校の友達と遊びたい。来年の成人式ではマスクを外して笑顔でみんなに会いたいです！

丸山理子さん(左・雁田)

現在は短大に行っていますが、4月から東京の大学に編入します。英語を勉強して、海外の方と接する仕事をするのが目標です。今この状況に負けないで、来年の成人式では笑顔で会いましょう！

元田彩葉さん(右・福原)

大学では幼児教育を学んでいます。小布施の子どもたちが好きなので、将来は小布施に戻って教育に携わりたい。成人式は延期になりましたが、その分来年盛り上がりましょう！



祝 成人おめでとうございます

今年は127人の皆さんが成人を迎えました。1月10日に成人式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来年に延期となりました。直接お祝いすることはできなくなりましたが、これからこの町の未来を創っていく皆さんを、小布施町はいつまでも応援しています。

新成人の皆さん(敬称略、希望者のみ掲載、順不同)

東町	畔上明花李	中町	池田歩華	寺島いぶき	小林佳穂
	伊東真汐		峰村夏実	千原大空	川上莉旺
	岩井鈴華		池田早季	大島	笹岡史希
	遠藤結衣		渡邊彩愛	荒井大輝	草間綾介
	鈴木莉乃	伊勢町	渡辺優佳	小林なるみ	倉科竜雅
	中込恵理		高野菜々恵	福沢恭輔	笹岡風斗
	中込宇彦		田中俊輔	伊藤綾人	黒岩拓斗
	原愛鈴		中牧彩綾	渡邊愛花	中子塚
	唐沢海翔	中央	唐澤真帆	小林純太	小林竜大
	小山まりあ		荻原颯希	飯田	久保田万葉
	丸山優星	中扇	今井克海	井出隼哉	松本光司
	村田龍之介		藤澤光	島田天太	矢島
	池田結美		横町	中沢芹菜	須山遥香
	小沢晃平		佐藤生実	鶴田光就	鈴木準希
	金田幸		中村結	山岸祥大	春原綾乃
	神田拓登		坂上歩	山寄翔太	清水
	滝澤由唯	福原	清水彩乃	小林そら	松村
	中山瑞希		元田彩葉	陸川悠馬	神戸兼史郎
	湯本恵大		宮崎郁巳	赤井出門	酒井春樹
	涌井瑞樹	上町	神田優太	小林英資	番場真夏
	押鐘凜平		三原早智	久保田雄大	松本爽夏
	木ノ内裕二		鈴木乃愛	関直哉	雁田
	塚田菜月		栗力丘	田中邑佳	神田唯斗
	田中有士		山本大洋	関直哉	丸山理子
	松島菜央		宮澤歩未	六川	中村友理佳
	藤木純汰		渡邊雄斗	市川竣介	林みづは
	村田悠菜			小田切豪太	

2020年

主な出来事

昨年は新型コロナウイルスでさまざまな事業が中止となりました。1年間の主な出来事を写真とともに振り返ります。

世界と日本の新型コロナ情勢

2020年 2019年

2月 1月 12月

14日 WHO「新型コロナウイルス確認」
16日 日本国内初の感染者を確認
30日 WHOが「国際的な緊急事態」宣言
5日 「ダイヤモンドプリンセス号」横浜沖での船上隔離開始
13日 新型コロナウイルスで国内初の死者確認
27日 安倍前首相が学校の臨時休校要請（3月2日～3月31日）

11日 WHOが「パンデミック」宣言
24日 東京五輪・パラリンピックの1年延期決定

3日 世界の感染者100万人
7日 政府が7都府県に緊急事態宣言
16日 **緊急事態宣言を全国に拡大**

4日 緊急事態宣言5月31日まで延長
14日 緊急事態宣言39県で解除
20日 夏の高校野球戦後初の中止決定
25日 **緊急事態宣言全国で解除**

19日 都道府県をまたぐ移動の自粛要請全国で緩和
28日 世界の感染者1000万人
22日 **「GOTOトラベルキャンペーン」東京を除外して開始**（10月1日から東京が追加）

28日 国内の1日の感染者795人。過去最多
28日 国内の死者1000人を超える
29日 岩手県で初の感染者を確認
15日 ヨーロッパで感染再拡大
20日 対策分科会尾身会長「流行はピークに達したとみられる」

5日 WHO「新型コロナウイルスのワクチン分配開始は来年中頃の見通し」
16日 安倍内閣が総辞職し、菅内閣が発足

1日 **GOTOトラベルキャンペーン開始**
12日 ヨーロッパで感染急拡大
14日 フランスが3か月ぶりに非常事態宣言

5日 1週間にクラスターが100件超前週の1.6倍。9月以降最多
7日 北海道「警戒ステージ3」に。ススキノで営業時間短縮など要請
10日 政府分科会が緊急提言「急速な感染拡大の可能性も」
18日 国内感染者数が過去最多の2201人に。東京も過去最多の493人で感染状況を最高レベルに引き上げへ

19日 国内感染者数2388人、東京都534人とともに2日連続で過去最多を更新
20日 政府分科会「GOTOキャンペーン」見直しなど政府に求める提言

24日 大阪府「コロナ重症者最多に」。27日から飲食店の営業時間短縮要請
27日 分科会尾身会長「個人努力だけに頼るステージ過ぎた」

1日 大阪の市立病院「看護師不足でがん治療など一部の病棟閉鎖」コロナ感染拡大で
8日 防衛省が医療体制ひっ迫の旭川市に看護師など10人派遣決める
14日 イギリスでワクチン接種開始

14日 **年末年始のGOTOトラベル全国一斉一時停止を決定**

小布施町の出来事

1月

2日 新春歩き初めに111人参加
12日 成人式開催。151人が新成人に①
14日 安市開催（15日）
27日 台風19号災害に関する「県政タウンミーティング」開催②

10日 小布施町消防団が国土交通大臣から水防功労者表彰を受章
29日 エンゼルランドセンター休館（5月31日）

2月

2日 栗ガ丘小学校・小布施中学校休校（3月31日）
8日 第62回分館対抗バドミントン大会中止

17日 栗ガ丘小学校卒業式
18日 小布施中学校卒業式
1日 第六次小布施町総合計画スタート

3月

6日 栗ガ丘小学校・小布施中学校入学式。休校を経て分散登校
9日 春の雁田山登山中止
11日 特別定額給付金（10万円）申請開始（8月12日）

4月

24日 歴史民俗資料館「春の特別イベント」中止
1日 小学校・中学校通常授業開始③
7日 総合防災訓練が9月26日に延期
14日 町消防技術大会中止

5月

21日 第35回分館対抗ソフトミニバレーボール大会中止
22日 消防団任命式④
10日 台風19号アンケート調査報告会
12日 第18回小布施見にマラソンが令和3年7月11日に延期

6月

25日 子どもみこし・くりんこ祭り中止
26日 小山田杯少年少女球技大会中止
14日 HLAB OBUSSEサマースクール中止

7月

20日 町が世界首長誓約に署名。温室効果ガスの排出削減を目指す⑤
25日 北部コミュニティを皮切りに町内9コミュニティで町政懇談会開催⑥
5日 第36回町民ゴルフ大会中止

8月

17日 敬老会ふれあい寄席中止
19日 特別講座「松川と小布施」開催
21日 スラックライン2020フルコンボジャパンカップスーパークラスを無観客で開催（アクティブクラス・ハイクラスはインターネット採点）

9月

23日 長野工業高等専門学校と「防災まちづくりに関する協定」を締結⑦
株式会社Goolight、自然電力株式会社、株式会社シグマックスと「次世代型インフラの実現に向けた包括連携協定」を締結
27日 小布施中学校鳳凰祭実施（28日）
26日 総合防災訓練を実施

10月

2日 栗ガ丘小学校体育祭実施
4日 千年樹の里祭り中止
11日 第54回町民運動会中止
17日 六斎市中止（18日）作品展中止（町報で作品を紹介）

11月

24日 秋の雁田山登山実施
1日 芸能祭中止（無観客の演技を町YouTubeで配信）

12月

7日 東京小布施会ふるさと交流会中止
21日 西部・北部7自治会防災訓練中止
25日 わが家の避難計画作成講習会実施
22日 小布施町長選挙告示。4回連続無投票に

26日 HLAB OBUSSEウィントースクールをオンラインで開催（29日）
27日 桜井昌季さんが小布施町長初当選⑧



⑧桜井昌季さんが無投票で小布施町長に当選



⑦長野高専と連携し、防災に対する研修会の実施やアプリの製作を依頼



⑥町政懇談会は規模を縮小して、対象を自治会長等役員の方に限定して開催



⑤世界首長誓約はオンラインで調印式を実施



④4月に予定していた消防団任命式は6月に時期をずらして開催



③休校延長で通常授業ができたのは6月からとなった



②台風19号災害に関する「県政タウンミーティング」。阿部県知事も出席し町民と意見交換



①成人式は例年通り開催

小布施バーチャル町民会議を開催します

こんにちは、地域おこし協力隊の日高健です。今回は、地域おこし協力隊と総合政策推進室で企画している「小布施バーチャル町民会議」についてご紹介します。昨年1月に赴任してから1年が経ちますが、たくさんの方々に支えていただき、非常に充実した日々を送っています。外から来る者を温かく受け入れる懐の深さは、葛飾北斎を迎え入れた江戸時代から、HLABや小布施若者会議を開催する現代まで続く、小布施の大きな魅力だと感じます。そんななか、新型コロナウイルス感染症の影響で、小布施を訪れる人も少なくなっていました。町外から小布施に関わる人の流れを絶やさないためにできることはないかと考え、企画に至ったのが「小布施バーチャル町民会議」です。2月から3月にかけて開催するこのプログラムでは、参加者がオンラインで集い、「関係人口」「観光」「教育」という3つのテーマで町のこれからを構想します。小布施に来ることが難しくても、オンラインで小布施とつながり、新たな交流が生まれる。そんなきっかけとなることを願っています。「小布施バーチャル町民会議」の活動内容については、今後ホームページなどで発信していく予定です。ぜひ今後の動きに注目していただければ幸いです。

地域おこし協力隊 日高 健



バーチャル町民会議のホームページはこちら

トピックス

子ども教室 餅つき・子ども能

11月22日に開催した小布施能では、新型コロナウイルス対策のため、子どもたちの出演を見合わせ、12月29日に子どもと親御さんだけで別途子ども能として開催しました。当日は午前10時から地域の皆さんにご協力いただき餅つきを行った後、11時30分から子ども能を開催。演目は当初小布施能で予定していた「鶴亀」を披露しました。

力いっぱいお餅をついて腕が疲れたけど、餅つきも能も楽しかったです 中島大誠くん



餅つきに奮闘する子どもたち



「力を発揮する発表の場は子どもに特に必要」と佐野さんは話します

「子ども能鶴亀」を小布施町ビデオリポーターに撮影していただきました。動画は、小布施町公式YouTubeチャンネルからご視聴いただけます。



「オブミッション」に遊びに来てね！

小布施町地域おこし協力隊員が主催する「ゆるく楽しいつながりづくり」の場、オブミッション。小学生を対象として月に2回、ミッションをもとに、遊びながら創造力や思考力を鍛えるコミュニティです。12月11日は、「救おう！いのち。」をテーマに、ぼうさいミッションゲームを行いました。AEDの使い方、消火の方法、担架の作り方などをゲームを通して学びました。

参加した子どもたちは、子どもたち同士でどんなアイテムをどのように使うのかを考え、ミッションクリアを目指していきました。「防災」はどうしても堅苦しく、難しいものとなってしまいます。だからこそ、楽しみながら考える「オブミッション」で得た知識を、万が一の時に生かしていただきたいです。

さて、今年から「オブミッション」はリニューアルします。毎回出されるミッションをもとに、遊びながら創造力や思考力を鍛える場から、だれでも気軽に來ることができ、宿題をしたり遊んだり、より自由に安心してゆっくり過ごせる空間とし、毎週金曜日に開催していきます。

地域おこし協力隊 須磨 航、佐々木 愛、遠山宏樹



オブミッションに来てくれた子どもたちと



noteも更新中！メンバーそれぞれの想いを掲載しています。ぜひご覧ください！



今回お話を伺ったのは、小布施町を拠点とした災害ボランティアや、地元の福井県で福祉の活動を行っている須磨 航さん。

須磨さんは昨年4月から、防災担当の地域おこし協力隊として活動を始めている。

防災ボランティアとしての模索

防災の分野に足を踏み入れるようになったきっかけは、大学2年生の時に発生した九州北部豪雨だった。当時、九州にいた須磨さんは大学の友人とともにボランティア活動に参加した。また、2016年に起きた熊本地震の被災者の方と話す活動のなかで、「怖かった」という思いには寄り添うことができた。一方で、発災直後の活動には参加できなかったため、災害発生時の状況まで理解することはできず、ボランティアとして継続的に関わっていく必要性を感じたそうだ。

現在、須磨さんが重点を置いているのは学生に対する防災教育だ。そのことに関して「大人になってからではなく、学生や若い人たちに防災の



須磨 航さん。
笑いを交えながら話してくれ、楽しい雰囲気の中でインタビューできました。

ことを伝え、考えてもらうことが重要だと考えています」と話してくれた。

学生に寄り添った支援の充実へ

一方で、須磨さんは、学生の困りごとをさまざまな制度と結びつけ、具体的に解決する方法を考えるスクールソーシャルワーカーとしても活動している。加えて現在は、公式LINEを使って学生の悩みに応えている。顔が見えないLINE上でのやり取りについて、須磨さんは次のように語った。「最後は『またね』『いつでもLINEしてね』と言って、その日のやりとりを終えます。ただ、近くにいる子も遠くにいる子も支援できる仕組みをこれから作っていかねばならないと考えています」。

今回のインタビューで1番印象に残った言葉は「若い人に防災のことを考えてもらうことが重要だ」というものだった。若い人は物事を柔軟に受け入れやすく、また飲み込みも早く、それが結果的に地域を救うことにもつながる。この話から、私たちも若いうちから防災を始めとした地域活動に関わっていくことや、そしてその姿勢を次の世代に伝えていくことが大事なのだと思った。



レイアウト・池田亜加理



文責・村田紘基

情(こころ)声に発す

お着謡プロジェクト主宰・宝生流 能楽師 シテ方 佐野登さん

このコロナ禍で、改めて何のために子どもたちに謡を教えるのか、その意味を考えています。ただ単に謡が上手というのではいけない。人がきちんとすること、本気になること、よく見る、よく聞く、よく真似をすること。能の言葉で「情(こころ)声に発す」とありますが、声は胸にある気持ちが湧き出たもの。なぜ、どうしてその「気持ち」が今、謡としてうたわれているのだろうか。子どもたちはその「気持ち」を学ぶことで、いいこと、悪いこと、本来の物事が分かるようになります。私も40年小布施町に通い、長老たちから「人とは何か、生

き物とは何か」と学んできました。その教えを引継ぎ、どこでも通用する人物を育てることで、将来町を率いるリーダーがこの町の子どもたちから生まれると信じています。



佐野登さん



出演者全員で記念撮影

2月16日(火)～3月15日(月)

所得税・町県民税の

申告相談が始まります

2月16日(火)から確定申告が始まります。各種書類は、役場財務課税務会計係に用意してあります。税務署から書類が届いた人は、その書類をご利用ください。

■確定申告をする必要がある人

- 事業・不動産所得がある人
- 営業、農業等の事業により生じた所得や地代、家賃などの不動産による所得がある
- 給与と所得があり、次のいずれかに当てはまる
- ①給与の年収が2千万円を超える
- ②給与以外の所得金額の合計が20万円を超える
- ③給与を2か所以上から受けていて、主たる給与以外の収入(アルバイト等)と他の所得の合計が20万円を超える

◎公的年金を受給している皆さん

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の場合は、所得税・復興特別所得税の確定申告をする必要はありません。

ません。

※所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

※所得税・復興特別所得税の還付を受けるには確定申告をする必要があります。

◆申告に必要なもの

- ①印鑑(認印)
- ②本人確認書類(次の(1)または(2))
- (1)マイナンバーカード(表・裏)の提示
- (2)通知カードの提示、身元確認書(運転免許証、健康保険の保険者証)の提示
- ③所得税が還付になる人は還付先の口座番号が分かる書類
- ④所得(収入)の分かる書類

源泉徴収票(原本)、収支内訳書、各帳簿など

◆各種控除と必要な書類

- 社会保険料控除
- 各機関から発行される支払証明書、領収書など
- 生命保険料控除と地震保険料控除
- 保険会社などが発行する支払証明書

○住宅借入金等特別控除

【控除1年目の人】

- ①借入金の年末残高証明書
- ②住宅借入金等特別控除額の計算明細書

③新築年月日・工事の請負代金・床面積が50㎡以上であることがわかる書類(請負契約書など)

④家屋の登記事項証明書(原本)

【控除2年目以降の人】

- ①借入金の年末残高証明書
- ②住宅借入金等特別控除額の計算明細書
- ③寄付金控除

寄付先の団体が発行した領収書など

◆申告の際の注意

○収入がない場合も申告を
申告された内容は、所得証明書、国民健康保険税、各種福祉手当などの基礎資料となります。そのため、申告していないと所得証明書の発行や各種福祉手当を受けることができません。収入がない場合も、税務会計係窓口にある簡易申告書に生活状況などを記入して申告してください。

○扶養控除を受けるとき

配偶者・扶養控除等を受ける際は、その人の所得額や、他の人と扶養控除を重複して受けていないか事前に確認してください。

◎医療費控除を受ける皆さんへ

平成29年分の確定申告から、医療費控除は領収書の提出が不要となり、代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。なお、税務署か

ら記載内容の確認を求める場合がありますので、領収書は5年間保存する必要があります。

給与所得控除・公的年金等控除が変わりました

給与所得控除・公的年金等控除が一律10万円引き下げられました。このほか、控除上限額なども変わりました。

ひとり親控除が創設されました

婚姻歴や性別に関わらず一定要件を満たす場合は、35万円を控除することができるよう「ひとり親控除」が創設されました。

基礎控除額が変わりました

控除額が10万円引き上げられ、48万円になりました。ただし、合計所得金額が2千400万円を超える人は、その合計所得金額に応じて控除額が変わります。

※申告会場に来場される際は、マスクを着用していただき、最少人数でお願いします。

※入場の際に検温を実施しています。咳・発熱等の症状がある場合は入場をお控えください。

■問い合わせ

財務課税務会計係
026-214-9103

申告相談日程表

会場	小布施町役場2階 第1会議室
時間	8:45～16:30
2月16日(火)	東町
17日(水)	上町・中町
18日(木)	伊勢町・中央
19日(金)	中扇・横町
22日(月)	福原・栗ガ丘
24日(水)	大島
25日(木)	飯田・林
26日(金)	山王島・北岡
28日(日)	日曜相談日
3月1日(月)	押羽・羽場
2日(火)	六川・中子塚
3日(水)	矢島・清水・中条
4日(木)	松村・水上
5日(金)	雁田・松の実
8日(月)	千両・クリトピア
9日(火)	
10日(水)	
11日(木)	予備日
12日(金)	
15日(月)	

※指定自治会の期日に都合のつかない人は予備日や日曜相談日にも相談できます。

長野税務署からのお知らせ

■問い合わせ ☎026-234-0111

申告書は、国税庁ホームページでも作成できます

確定申告には、ご自宅からパソコン・スマホでご利用いただけるe-Tax・スマホ申告が便利です。

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、多くの方が訪れる確定申告会場に出向かなくても、マイナンバーカードとICカードリーダーやマイナンバーカード対応のスマホを利用して、e-Taxで申告書を提出できます。なお、マイナンバーカードとICカードリーダー等をお持ちでない方でも、e-Taxに使用できるID・パスワードの発行を受けていただいている方は、e-Taxを利用できます。また、印刷して郵送等で税務署に提出することもできます。感染予防の観点からも、ぜひご自宅からe-Taxをご利用ください。

○確定申告などに関するお問い合わせ

国税庁ホームページ「確定申告特集」をご覧ください。

○e-Tax・作成コーナーの操作などに関するお問い合わせ

「e-Tax・作成コーナーヘルプデスク」(0570-01-5901)

【受付】月曜～金曜の9:00～20:00(祝日を除きます)

長野税務署が開催している相談会場をご利用ください

次に該当する人は、役場で受け付けすることができませんので、長野税務署が開設している相談会場で申告してください。

○青色申告をする人

○土地・建物・株式等を売った譲渡所得のある人

○事業等の損失を繰り越す繰越損

失控除のある人

○相続・贈与のある人

日時 2月16日(火)～3月15日(月)

の平日のみ 9:00～16:00

※2月21日(日)、28日(日)は開催し

ます

場所 長野市若里市民文化ホール

※確定申告会場では、入場の際に「入場整理券」が必要となります。入場整理券の配布状況に応じて後日の来場をお願いすることもあります。整理券の配布方法は国税庁ホームページでご確認ください。



利用者識別番号の取得が必要になります

役場で受け付けた確定申告書については、従来の書面ではなくe-Taxを用いてデータにより税務署へ引き継ぎます。この際に申告者本人の利用者識別番号(ID)の取得が必要となります。取得

には本人確認が必要となりますので、運転免許証などの本人確認書類をお持ちください。

e-Taxを利用したことがあり、すでに利用者識別番号を持っている人は番号の分かるお知らせはがき等をお持ちください。

子育て支援

ひとり親世帯臨時特別給付金の申請はお済みですか

新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親世帯を支援するため、ひとり親世帯臨時特別給付金を支給します。まだ申請されていない人は、早めに申請をしてください。

支給対象となる人

【基本給付】

- ①、②のいずれかに該当する人（いずれも所得制限があります）
- ① 公的年金等を受給していることにより、令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けていない人

② 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、収入が児童扶養手当受給者と同水準になった人

【追加給付】

基本給付の支給対象者①に該当する人で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が大きく減少した人

支給額

- 【基本給付】 一世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円加算
- 【追加給付】 一世帯5万円
- 申請期間 2月26日（金）まで

申請方法

申請書に次の書類を添付のうえ、役場健康福祉課窓口へ提出してください。（申請書等は健康福祉課窓口または町ホームページから入手できます）

- 収入（見込）額の申立書、収入を証明する書類（給与明細書、年金振込通知書等）
- 申請者の本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）の写し
- 受取口座の金融機関名、口座番号、口座名義人がわかる通帳やキャッシュカードの写し
- 戸籍謄本または抄本

※このほか、提出が必要な書類がある場合があります

その他

基本給付は、再支給も行われます。基本給付の申請を行えば、合わせて再支給も受けることができます。

■問い合わせ

健康福祉課福祉係
☎ 026-214-9108

子育て支援

育英金をご利用ください

経済的な理由で就学が困難な学生が高等学校、大学などに通うための支援として、育英金の貸し付けを行っています。

受付期間

3月5日（金）まで（令和3年4月から貸し付けを希望する場合、年度途中も随時受け付けます）

提出書類

- 育英金貸付申込書兼誓約書
- 育英生推薦調書
- 育英生の父および母の市町村民税課税額、生計を別にする連帯保証人の町税等納税額を証するもの（町内者は閲覧の同意があれば提出不要）
- 育英金を利用できる学生の条件
- 小布施町に住所または生活の根拠がある人であること
- 勉学の意志があり所定の修学ができる見込みがあると認められること
- 在学する高等学校等の学校長が推薦した人であること
- 貸し付けた育英金の償還が可能であると認められ、かつ、確実な保証人を有すること
- 独立行政法人日本学生支援機構およびその他の団体から別

区分		貸与月額	
高等学校 特別支援学校高等部 中等教育学校後期課程 専修学校高等課程	国公立	14,000円以内	
	私立	24,000円以内	
高等専門学校		19,000円以内	
専修学校専門課程 大学	国公立	自宅通学	32,000円以内
	私立	自宅外通学	40,000円以内
		自宅通学	40,000円以内
		自宅外通学	55,000円以内

■問い合わせ

教育委員会子ども支援係
☎ 026-214-9110

に学資等の貸与を受けていないこと

○ 父および母の市町村民税額の合計額が20万円以下であること

小布施町長選挙

桜井昌季さんが無投票当選

12月22日告示の小布施町長選挙は、立候補届出者が桜井昌季さん（松の実）一人だったため無投票となりました。12月27日に選挙会が開かれ、和田信二小布施町選挙管理委員長から当選証書が手渡されました。桜井さんは、1月22日に町長に就任します。（任期は令和7年1月21日まで）



和田信二選挙管理委員長から当選証書を受け取る桜井昌季さん

あなたの“未来”応援します！

国の教育ローン

ご融資額 350 万円以内
（お子さま1人あたり）



ご入学前の
まとまった費用
の準備が可能！

固定金利
長期返済なので安心！

35年以上の
取扱実績！

【ご相談・お問い合わせは】

教育ローンコールセンター



0570-008656

（または03-5321-8656）

受付時間 月～金曜日／9:00～21:00 土曜日／9:00～17:00

※日曜日、祝日はご利用いただけません。

詳しくはWebで！



日本政策金融公庫

国の教育ローン

検索

子育て世帯の家賃を補助します

平成3年4月2日以降に生まれた29歳以下で子育てをしている人の経済的負担の軽減と少子化対策の強化を目的に家賃の一部を補助します。

対象者

次の全ての要件を満たす保護者

○ 18歳以下の子どもを養育している人、または出産前母子健康手帳の交付を受けた人がいる世帯に属する人

○ 29歳以下の人（申請者）

○ 本人または配偶者が賃貸借契約を結び、住宅（アパート等含む）を借り受けている人

○ 居住地域の自治会に加入している人

※小布施町移住促進補助金を受けている人は対象外となります

補助金内容

令和2年4月から令和3年3月までの間に借りている住宅の家賃の補助として、月額1万円分を年度末にまとめて支給します（最長6年）

※月の途中から入居している場合は、その入居した月の翌月

分から対象となります

※母子健康手帳の交付を受けた場合は、その手帳の交付月から対象となります

申請期間

3月1日（月）から26日（金）まで

申請方法

申請書を役場企画政策課へ提出してください。申請書は、エンゼルランドセンター、町の各保育園・幼稚園、まちとよテラス、役場企画政策課に設置してあります。また、町ホームページからもダウンロードできます。

その他

補助を受けるには毎年申請が必要です



■問い合わせ・申請先

企画政策課定住交流係
☎ 026-214-9102

まちとしょ テラソinformation



☎ 026-247-2747 / Fax 026-247-4504
開館時間 9:00 ～ 19:00 (平日)
9:00 ～ 18:00 (土日祝日)
公式HPで最新情報をご覧ください

2月の休館日 ▶ 2日☕、9日☕、16日☕、23日☕
25日☕ (図書整理日)

インターネットサービス／ユーザー登録について

小布施町立図書館蔵書検索システムからインターネットでWEB予約が可能です。

インターネット予約にはユーザー登録が必要です。利用者カードを持参の上、カウンターでお問い合わせください。ユーザー登録は、利用者カード所持者ならどなたでも登録できます。

WEB予約の手順の詳細は、下記アドレスから「Web予約の利用について」をご参照いただくか、小布施町立図書館ホームページから「まちとしょテラソについて」→「館外貸出・予約・返却」→「インターネットサービス・ユーザー登録について」→「Web予約の利用について」へおすすみください。

<https://www.town.obuse.nagano.jp/lib/docs/8892.html>



2月のテラソ百選のテーマは「嘘」です

口うつろと書いて「嘘」ですね。よくできている漢字だと思います。人間をだますために言う、事実とは異なる言葉ですが、時と場合によってはついてもいい嘘もあるのが世の常。悪い事ばかりではないのかもしれませんが。今月はそんな「嘘」の世界へご案内いたします。



2月のおはなし会

日 時	内 容
2月 13日(土) 10:30～	お父さんの読み聞かせ会
2月 19日(金) 15:30～	低学年のためのおはなし会
2月 27日(土) 10:30～	おはなし会

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止になる場合がありますので、ご了承ください。

今月の棚からひとつかみ — テラソおススメの本をご紹介します —

『なぜ、在宅では「いのち」の奇跡が起きるのか?』
東郷清児 著 / コスモ 21

「自宅を最期」を願っているのに8割が病院で亡くなるのは日本だけ。経済、長寿が世界トップクラスの日本で、とりわけお年寄りの幸福度があまりに低い理由を読み解く!

『境界線』
中山七里 著 / NHK出版

『護られなかった者たちへ』に連なる「宮城県警シリーズ」待望の続編。3.11から数年後の仙台で、津波による行方不明者たちの身元が騙られる事件が次々に発生! その意味と、犯人の目的とは果たして…社会派長編小説

『いざ! 登る 信濃の山城』
中嶋豊 著 / 信濃毎日新聞社

武田・上杉の勢力争いと、それに絡む村上、真田氏らの攻防の舞台となった信濃に残る戦国期の山城跡 130カ所を取り上げ、登るためのルートをイラスト地図で解説する。

『十の輪をくぐる』
辻堂ゆめ 著 / 小学館

「私は……東洋の魔女」。認知症の母がつぶやいた謎の言葉。母が隠していた「家族の過去」とは? 息子の泰介は、九州から東京へ出てきた母の過去を何も知らないことに気づく。二つの五輪を貫く、三世代の大河小説。

有料広告

「お寺でお葬式という選択」賛同寺院各宗派123ヶ寺



1
ご本尊様のある荘厳な本堂で
たいせつなご家族をおみおくり



2
費用もおさえられ
余計な出費もない「お寺葬」



3
ご不安な手続きや、お寺さんとの
打ち合わせも全てお任せ

あんしん
「お寺でおみおくり」では、新型コロナウイルスの感染予防を
万全な対策で行っております

檀家、信徒、宗派問わず
まずはどなたでもご相談ください

お寺とおみおくり

一般社団法人日本寺葬協会 株式会社やすらぎあん

年中無休24時間対応

0120-016-598
www.oteomi.or.jp



農業委員会だより

～小布施の大地に一番近い農家の皆さんへ～



農地バンクをご利用ください

農業委員会とJAでは、農地の荒廃を防ぎ、担い手の農家による有効利用を促進するため、売買・貸借等を希望する小布施町、須坂市、高山村の農地情報を提供しています。「売りたい」「貸したい」農地と「買いたい」「借りたい」農家さんを登録し、紹介して結び付けていますので、お気軽に農業委員会事務局や地区の農業委員、農地利用最適化推進委員会にお問い合わせください。随時登録を受け付けています。

いったん荒廃してしまうと、買い手・借り手が見つかり

○主な登録物件

所在地	地目	作付品目	面積 (㎡)
押羽字水窪	畑	リンゴ	426
都住字三田町	畑	ブドウ	991
雁田字観音下	畑	(元) リンゴ	2,749

にくくなります。また、春になると作付けに間に合わないため担い手農家さんへの紹介が困難になります。「売りたい」「貸したい」農地がある人は、良好な肥培管理ができているうちに、お早めに相談されることをお勧めします。

■問い合わせ

農業委員会事務局 (産業振興課農業振興係内)

☎ 026-214-9104

JAながの (須高営農センター)

☎ 026-245-0153



所在地	地目	作付品目	面積 (㎡)
中松字中条沖	畑	栗	3,137
中松字中条沖	田	水稻	2,462
都住字水久保	畑	更地	1,383

他にも多くの登録物件があります。

選挙運動費用の公費負担制度が始まりました

公職選挙法の一部改正に伴い「小布施町議会議員及び小布施町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」を制定しました。これにより候補者の選挙運動費用の負担を減らし、立候補や選挙運動の機会均等を図ります。一定の金額を限度として、選挙運動用自動車の費用などが公費負担となります。ただし、一定の得票数

に達しない場合は供託金が没収となり公費負担の対象外になります。

供託金没収点

【町長選挙】有効投票総数の10分の1

【町議会議員選挙】有効投票総数を議員定数で除した数の10分の1

公費負担となる選挙運動の種類と限度額 (1日当たり)

一般乗用旅客自動車 運送契約 (ハイヤー)	自動車借入契約 (レンタカー)	燃料供給契約	運転手の雇用契約 (1人)
64,500円	15,800円	7,560円	12,500円

※対象期間は、候補者届出日から選挙日の前日まで

選挙運動用ビラの作成の公費負担限度額と枚数

1枚当たりの限度額単価	枚数の範囲
7円51銭	町長 5,000枚 町議会議員 1,600枚

※7円51銭 (単価) × 枚数 = 限度額

選挙用ポスターの作成の公費負担限度額 (小布施町掲示場数 31カ所)

○公費負担対象枚数 31枚

○ポスター作成の単価限度額 1枚当たり 3,313円

○供託金の導入

公職選挙法 (第92条) の一部改正に伴い、町長選挙の候補者 50万円の供託に加え、町村の議会議員の選挙でも 15万円の供託が必要になりました。

■問い合わせ

小布施町選挙管理委員会
(総務課総務係内)

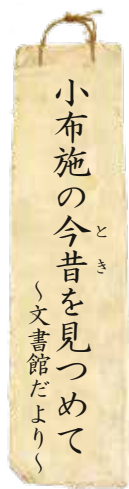
☎ 026-214-9100



自治大臣表彰受賞の記念撮影（前列中央は中村 功町長）



全国広報コンクールで特選となった「さっそく仲よしに」（昭和54年4月号町報表紙）



第82回

2013（平成25）年4月に開館した小布施町文書館の収蔵品や取り組みを紹介します。

「町報おぶせ」自治大臣表彰

今から40年前の1980（昭和55）年10月に岐阜県で開催された第17回全国広報広聴研究大会の席上、「町報おぶせ」が栄えある自治大臣表彰を受けました。

これは昭和54年全国広報コンクール広報写真（一枚写真・課題）の部で、昭和54年4月号の町報表紙写真「さっそく仲よしに」（撮影者・田中茂実氏）が特選となり、自治大臣表彰を受賞したものです。

この全国広報コンクールの審査は、広報紙、広報写真、有線放送、広報展示物、広報映画といった5媒体8部門について行われ、都道府県の推薦を受けた233点の作品の中から、部門ごとに特選1点、入選数点が選ばれたものです。

審査員の石井幸之助氏は、「お相手の少女の顔は見えないのだが、背中からクビ筋までの線が、かえって新しくできたボーイフレンドへの喜びの表情を、より美しいイメージで描かせる効果を出したのではないだろうか。（略）」と評しています。

「どんな写真も表紙を撮るつもりで」。先輩たちの想いは、今も町の広報紙づくりに受け継がれています。



学校・園だより

小布施からみ大根を育てました 栗ガ丘小学校 5年生



5年生では、去年の「小布施丸なす」に続き、地元野菜の「小布施からみ大根」を育てています。小布施からみ大根組合さんの協力の下、まちづくり委員会の工藤さんから、大根の育て方と社会科で学んだ「地産地消」や「フードマイレージ」を絡めた地元野菜と食に関わるお話を聞きました。授業で学習した内容を生かすとともに、地域の野菜を知る貴重な体験になりました。

工藤さんのお話を聞いて、地域のことを知ることは大切だと思いました。あと地産地消をすればトラックのガソリンなどを節約することができます。そうすれば、環境問題も克服できるのでいいと思いました。

5年生 中村智久さん



人権同和教育の推進に関するポスター入選作品

令和2年度人権同和教育推進に関する入選作品のポスターの部で優秀賞に入賞した作品を紹介します。



栗ガ丘小学校6年
古川伊菜里さん



小布施中学校
1年1組
人権委員会
小林優真さん
関谷晴乃さん
土屋衣吹さん



小布施中学校
2年2組
人権委員会
番場奏音さん
大田悠輔さん
中村悠吾さん



小布施中学校
3年2組
人権委員会
佐藤瑞光さん
小林千桜さん
中村凌輔さん



未来へのメッセージ

明るく住みやすい地域のために 去年の千両分館長 石井 文さん

3年前の5月に小布施に転入してきました。小布施町はコンパクトで、若い人たちも関わってアイデアを出し合いながらまちづくりをしていて明るい町だと思います。

子どもが4人いるのですが、以前暮らしていた町では周りの人たちが子どもたちを気かけ、声をかけたりしてくれました。夫は仕事が忙しくて家にいる時間が少なかったので、子どもは地域に育てていただいたと思っています。そういった経験があるから、自治会の活動に積極的になれたんだと思います。分館長を引き受ける時「私は抜けているところがあるので不安です」と言うと、自治会長さんが『それくらいがちょうどいい。みんなで支えるから』と言ってくださり、楽し

く活動することができました。

分館活動で印象に残っていることは、花壇づくりを通して区民の皆さんの温かさにふれたことです。「作業お疲れさま」「花壇いいね。きれいな花だね」など、お互いに声をかけ合う姿を見ると本当にうれしいです。これからも、明るく暮らしやすい自治会の実現に向けて活動したいと思います。また、以前暮らしていた町でやっていた、学校での子どもたちを支援するボランティア活動にも参加できればと思っています。



トピックス

支え合い はじめの一歩 つながる小布施の「わ」

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて中学生もがんばっています



「巨大アマビエ図」

保健委員会が「疫病退散」「みんなに笑顔！」を願って作成し、昇降口に掲示しました。

生徒の皆さんから 「平等な見方」

医療従事者や感染してしまった人への差別や偏見があります。自分が感染してしまう可能性もあります。差別している人たちが自分が差別される側になってしまったらどう感じるのでしょうか。きっと、とてもつらい気持ちになると思います。たとえ病気になってもみんな同じ人間です。だからこそ自分と他人を区別せず、平等に考え合うことで差別はなくなると思います。

「冷静な行動を」

悲しい思いをする人が出ないようにしたいです。人は恐怖を感じた時に人にいやな思いをさせてしまいます。まず立ち止まって、冷静に生活するべきだと思います。

五味 隆 教頭先生

中学校では、差別や偏見、誹謗中傷などを許さない気持ちを持つことや、誰もが感染する可能性があり、もし周りの人がかかったら温かな気持ちで見守りたいという心を持つことを生徒に話をしているところです。みんなが大変な時こそ、お互いの気持ちを考えて、支え合うことを大切にしていきたいと思っています。

令和3年2月 イベントカレンダー

健福・・・千年樹の里/健康福祉センター 生駐・・・生活支援ハウス駐車場
天使・・・エンゼルランドセンター 北体・・・北部体育館

日	月	火	水	木	金	土
1/31	2/1 ◇エンゼル豆まき (Aグループ 11:00頃～天使) 18P	2 ◇エンゼル就労相談 (10:00～天使) ◇エンゼル豆まき (Bグループ 11:00頃～天使) 18P	3 ◇転倒予防教室 (名字あ～さ行) (13:30～健福)	4 ◇オレンジカフェくりんこ (13:30～健福) ◇特定任意講習会 (18:30～須坂警察署)	5	6
7	8 ◇エンゼルほのぼのカンファレン (10:00～天使)	9 ◇ダンスで脳元気教室 (13:30～健福)	10	11	12 ◇転倒予防教室 (名字た～わ行) (13:30～健福)	13
14 ◇資源物回収 (8:00～生駐)	15 ◇転倒予防教室 (名字あ～さ行) (13:30～健福)	16	17 ◇須高広域シルバー人材センター入会説明会 (13:30～桃源荘) ◇ウオーキング健康教室 (13:30～北体)	18	19 ◇エンゼル乳幼児食作り (9:45～天使)	20 ◇無料住宅相談会 (10:00～旧上高井郡役所) P20
21	22	23	24	25	26 ◇転倒予防教室 (名字た～わ行) (13:30～健福)	27
28 ◇まちづくり委員会住民防災講座 (10:00～健福)	3/1	2	3	4	5	6

しばた・なぎ R2.1.6生
柴田 凪 くん



「いつも元気いっぱいニコニコな凪くん、これからもたくさん遊ぼうね！」
☎柴田 仁 ☎慈 (伊勢町) より

かさはら・あおひ H27.1.16生
笠原 葵陽 くん



「6歳おめでとう。これからも元気いっぱいに成長してね」
☎笠原 優 ☎望 (中町) より

おぶせっこ 1月生まれ 大集合!!

2月、3月生まれの小学生以下の皆さんを募集中!!
①名前 (ふりがな) ②生年月日③性別④電話番号⑤応募者の名前・自治会⑥メッセージ (30字まで) ⑦写真を下記宛先まで (先着4人) (データは2MB以下)
●応募締切
☆2月生まれ 1月29日☎
☆3月生まれ 2月26日☎
●応募先 総務課広報係 ☎026-214-9100 (直通)
✉soumu@town.obuse.nagano.jp

エンゼル 通信





問い合わせ エンゼルランドセンター ☎026-247-2137

2月の日程	
無病息災、疫病退散を願い「豆まき」を行います。	
期日	①2月1日☎ Aグループ ②2月2日☎ Bグループ
時間	11:00頃
グループ	利用できる日にち
A	1日☎、3日☎、5日☎、9日☎、12日☎、16日☎、18日☎、22日☎、25日☎
B	2日☎、4日☎、8日☎、10日☎、15日☎、17日☎、19日☎、24日☎、26日☎

相談内容	日 時	相 談 員	場 所 等
人権相談	3日☎ 12:30～14:30 ※電話、匿名でも可	人権擁護委員	北斎ホール 相談室 ☎内線545
心配ごと相談	2☎、16日☎ 13:00～15:00	民生児童委員	北斎ホール 事務室
行政相談	19日☎ 9:30～11:30	行政相談委員	北斎ホール 相談室
あったか介護談話室	15日☎ 13:30～15:30	介護支援専門員	健康福祉センター
乳幼児健康相談	3日☎ 9:30～12:00	保健師・栄養士 臨床心理士	健康福祉センター
住まいづくり相談	17日☎ 14:00～16:00 ※要予約	住まいづくり相談員	公民館2階 音楽室
結婚相談	毎週☎・☎・☎ 10:00～12:00 13:00～15:00	結婚専門相談員 ※2月11・23日休業	公民館結婚改善委員会室
心のサポート相談	毎週☎ 13:00～15:00 上記時間にお電話で面接時間をご予約ください	臨床心理士・ 精神保健福祉士	おぶせフラワーセンター 2階相談室 ☎026-214-6651
法律相談	18日☎ 14:00～16:00 ※要予約	弁護士 司法書士	北斎ホール 相談室・講習室

須坂市消防署小布施分署からのお知らせ

ヒートショックに気を付けましょう

ヒートショックとは

家の中の急激な温度差により血圧が大きく変動することで失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こし、体へ悪影響を及ぼすことです。

ヒートショックを防ぐには

○防寒し外気に皮膚をさらさない

○食事や飲食は入浴後に

○入浴前後に水分補給

○湯船の温度を上げ過ぎない

○浴室やトイレの温度を上げる

○トイレでいきみすぎない (普段の便秘対策も重要)

■問い合わせ 須坂市消防署小布施分署 ☎026-247-5901

有 料 告 白

株式会社 見海造園

一級造園技能士・庭園アドバイザー

TEL:247-2887
FAX:247-5633
E-mail: obuse@niwahana.net

消毒・手入れ・工事等緊急の場合も対応します



庭の存在がライフスタイルを変える

庭木の手入れ・栗・果樹・高木の伐採までお任せください。その他何でもご相談ください!

庭園工事 茶庭・一般住宅庭園・修景工
設計・施工・管理

エクステリア工事 門塀・フェンス・カーポート

石工事 灯籠・石積み・墓石・記念碑

その他 消毒・各種門松・雪吊り・屋上緑化等

Health 情報

みんなの健康ひろば

風しんの抗体検査・予防接種を受けましょう

風しんの流行と先天性風しん症候群を防ぐために「抗体検査」「予防接種」を実施しています。

風しんは、発疹、発熱、首や耳の後ろのリンパ節の腫れが特徴の感染症です。大人がかかると症状が重くなることがあります。特に、妊娠初期の妊婦さんが風疹に感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目、耳、心臓に障害を引き起こすことがあります。(先天性風しん症候群)

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日
生まれの男性

受診場所 ①各医療機関(実施していない医療機関もありますので直接お問い合わせください)
②健康診査と同時実施(勤務先、受診医療機関にお問い合わせください)

検査方法 抗体検査は血液を採取して検査します。検査の結果、予防接種の対象と判定された場合に予防接種を受けてください。

持ち物 町から配布されたクーポン券、住所確認できるもの(健康保険証等)

◎これまで風しんの予防接種の機会がなく、免疫を持っていない可能性の高い昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、無料で「抗体検査」「予防接種」を受けられるクーポンを配布しています。

期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日まで(3年間)



健診結果や体調のこと、食事など健康について気になることはありませんか。保健師と栄養士に何でもご相談ください。

健康福祉課健康係 ☎026-214-9107

麻しん風しん混合(MR)ワクチン予防接種を受けましょう

第1期

対象 1歳～2歳未満のお子さん

接種期間 1歳の誕生日前日～2歳の誕生日の前日まで

第2期

対象 年長児のお子さん(平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ)

接種期間 令和3年3月31日 まで

共通事項

対象の年齢を過ぎると任意接種(有料)になります。

両親学級を開催します

妊婦さんとその家族を対象に、体験を通じて出産や子育てについて学びます。

参加を希望する人は、健康福祉課健康係までお申し込みください。

開催日 2月8日㊤

時間 9:00～

内容 妊娠中の過ごし方、妊娠中の食事、歯の健康づくり、妊婦体験・沐浴体験

ほか

会場 保健センター



乳幼児の健康をチェックする健診を毎月行っています。子育ての相談もお受けしていますので、ぜひご利用ください。

会場はいずれも健康福祉センターです。

子どもの健診

健 診	日 時	対 象
10・11カ月児健康診査	2月17日㊤ 受付 13:00～13:15	令和2年 3月～ 4月生まれ
3・4カ月児健康診査	2月24日㊤ 受付 13:00～13:15	令和2年10月～11月生まれ
子育て教室・こっこ塾 (6・7カ月児)	2月25日㊤ 受付 9:30～ 9:45	令和2年 7月～ 8月生まれ

series 88 Obuse 彩発見

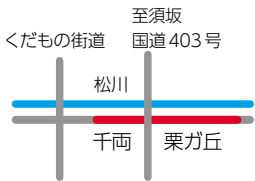
「寄っとくんない 見てくんない」

広報員がお気に入りの場所を紹介します

私のお気に入り

千両から栗ガ丘の松川土手道です

春、桜が満開。夏、両脇の雑草との闘い。地区の方の苦勞を感じながら、秋、紅葉と木枯らしで枯れ木に変わっていく寂しさ。冬、景色の色が無くなり川の音が妙に大きく聞こえてくる。壮大な北信五岳が目の前に広がる。千両から入り、どこまで土手道が続いているか知りたくて川沿いを歩いてみて、このコースがとても気に入った。四季の変化を感じることができ、信号がないので自分のペースで歩くことができる。ゆったりとした時間も感じられる1.4キロのコースである。



広報員
関 明彦さん(中条)

おぶせ自然暦

four seasons in obuse vol.106

春の妖精 カタクリの花

カタクリはユリ科の多年生植物で山地に群生しています。雁田山でも群生地が数箇所確認されています。早春の木の芽が出る前に咲くのでスプリング・エフェメラル(春の妖精)と呼ばれる植物の一つです。花が咲き、種子が地上に落ちると、アリが種子を遠くまで運びます。種子から花が咲くまでに数年かかりますが、この間に茎が地下深く伸びて地下15cm位の所に鱗茎(球根)ができます。この鱗茎から昔はカタクリ粉を取ったといひます。現在のカタクリ粉はジャガイモの澱粉です。 案内人:清水照雄さん(栗ガ丘)



1、2_カタクリの花 3_群生するカタクリ 4_カタクリの実(写真2～4は清水さん提供)

第一生命保険㈱と包括連携協定



1月6日㊤に第一生命保険株式会社と、町民の健康増進や地域経済の活性化のための「包括連携協定」を締結しました。お互いが連携し、町民の

健康増進、スポーツ振興、子育て支援、産業振興、環境保全への取り組みなど、あらゆる分野で協働して町民の皆さんの福祉の向上を目指すためのものです。締結式で久留嶋 純長野支社長は「地域の課題解決の一助を担いたい。コロナ禍の中で、現在も小布施町の飲食店の皆さんの応援キャンペーンなどを行っています。これから町と話し合いながら、改めて具体的な取り組みを進めていきたい」とあいさつ。市村良三町長は「健康寿命の延伸や商工業の支援などで支えていただければ心強く思います。ますますの連携によって町民の皆さんの福祉の向上につなげていきたい」と話し、協働の取り組みがスタートしました。



インターネットで新たな交流

～栗ガ丘小5年1組とヤンゴン（ミャンマー）日本人学校～

栗ガ丘小学校5年1組が、インターネットを使ってミャンマーのヤンゴン日本人学校の子もたちと交流しています。昨年の3月まで担任だった久保田智絵美先生が4月からミャンマーの日本人学校に赴任することになり、栗ガ丘小の子もたちの「ミャンマーのみんなとつながりたい」との希望から実現したもので、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大のため日本に留まっている久保田先生が橋渡しをしています。

12月17日には2回目となる交流会が実施され、お互いの地域の特色を知るためのクイズを出し合い交流を深めました。久保田先生は「ミャンマーの子もたちとはまだ会えず、毎日オンラインで授業しています。日本では学校が再開し、栗ガ丘小も体育祭などは開催できましたがミャンマーはまだ再開していません。日本の子もたちには、外国の状況を知ること自分たちの恵まれた環境に気づいてほしい。これからも時間を見つけて子ども同士をつなげていきたい」と話します。

整備されたインターネット環境のもとで、新しい形のグローバル交流が始まっています。



タブレット端末を使ってミャンマーに動画を送信。学校活動の様子を紹介しました。



ミャンマーにしっかり届いています。（写真はヤンゴン日本人学校のクラーク和行さん）



クイズを出し合ったのが楽しかった。（ミャンマーの寺院の写真を見て）お寺が大きくて、光っていてすごかった。また交流したいです。

芋川琥博さん



2回目となった今回は子どもたちも積極的に対話できるようになり、深いコミュニケーションを取ることができました。この新しい出会いから多くの刺激を受け、自分の世界を広げていってほしいです。

神田由美子先生（5年1組担任）



ミャンマーのヤンゴン日本人学校の皆さん



石田未式さん

クイズが楽しかった。今度は私たちが作った詩を紹介したいです。

池貝采夏さん

栗ガ丘小のことを知ることができてよかった。今度は私たちのことをもっと知ってほしいです。

大久保智宏さん

ミャンマーの人はみんな明るくて、あいさつしてくれます。ミャンマーのことを知れば、行ってみたくなくとも思います。

佐藤 空さん

小布施はにぎやかな町だと思った。ミャンマーには大きなパゴダ（お寺）もあって、馬車もあります。遊びに来てください。

編集後記

▼HLA Bウィンタースクール、バーチャル町民会議、ミャンマーとの交流。ICTを駆使して、物理的な制約を越えた新しい形のまちづくりが生まれているのを目の当たりにしました。広報のあり方も、新しい技術と手を組みながら変えていかななくてはならないと思います。「同じ空間を共有するからこそ、心の機微に触れ合うことができる」という、これまでの良さも忘れずに。（塩野崎）

▼令和2年は様々な行事が中止になった年でしたが、子どもたちはたくましく映画を撮り、ミャンマーと交流し、謡の発表もしてきました。高校生はインターネットでインタビューして町報に記事を書いてくれていました。できないことも多くなりましたが、今だからこそできることも増えています。（須藤）

小布施町 公式LINE



小布施町の暮らしのお役立ち情報やイベント情報などをお届けする公式アカウントです。緊急情報などもお知らせしていきます！

友だち登録はこちら

